

令和7年度 学校保健委員会

令和8年1月15日

1. テーマ

「健康で安全な学校生活を目指して」

学校保健委員会は保健分野のみではなく、体育・安全防災・給食など幅広い分野から、児童生徒の健康や安全な生活に向けて取り組んでいます。

2. 本日の内容

(1) 給食分掌の取組

(2) 各分掌の取組

保健分掌

体育分掌

安全防災分掌

(3) 質疑応答

(4) 学校医より

(5) 保護者より

(6) 校長より

分掌名	給食	担当者	◎山崎 佐川 柴田 月森 林 木村 重田 米井 熊川 ◎阪中 高橋茉 小山 川口 山本 小川 館野
-----	----	-----	--

1. 今年度の活動報告（・箇条書き、◎今年度新たに取り組んだこと、力をいれたこと）

小学部

児童対象	職員対象
<p>◎痩せ、肥満児童家庭との連携を図った。 食事記録表の記入を家庭にお願いし、痩せや肥満の原因から対策を考えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KAGOME りりこわくわくプログラムの活用。トマトの栽培、収穫をして調理学習を行った。 ・実際に給食に出す食べ物を使った体験活動に取り組んだ。（3年生はそら豆、4年生はグリーンピース、5年生は枝豆） ・摂食指導を行った。（配慮を要する児童への対応） ・感染症対策を講じての児童の給食当番を実施した。 ・毎月マナー目標を設定し、児童用食育だよりに掲載した。 <p><保護者に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入生を対象に、試食会を行った。 ・毎月、保護者向けの食育だよりを発行し、食に関する情報を発信した。 	<p>◎給食の一人前量を周知し、どの児童も適切な量が食べられるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食当番健康管理表を毎日回収し、点検をした。 ・感染症対策について、配膳から片付けまで実施方法をまとめ、周知した。 ・食器具の管理（介助皿） ・感染対策のガイドラインに基づき、調理学習の実施方法を作成し、周知した。 ・アレルギーファイルを作成し、各クラスで保管し周知した。 ・職員対象の摂食指導研修を行った。

中学部・高等部

生徒対象	職員対象
<ul style="list-style-type: none"> ・給食委員会の生徒が、食堂の清掃に取り組んだ。（モップがけ、台拭き、箒がけ等） ・給食委員会の生徒が、給食後のごみ処理を衛生的に行えるよう、ごみ入れ用の箱を製作した。 ・卒業生リクエスト献立等、生徒が自分で食べたいものを選ぶことができる機会を用意した。（1月に実施予定） ・「かみかみ献立」（良く噛んで食べることを意識する献立）を取り入れた。 ・高等部の農耕班がつくった野菜（さつまいも）を給食の献立として提供する。（1月下旬予定） ・職業・家庭の授業において、調理実習時に栄養素やその働きについて学習した。 ・栄養士による出張授業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食当番健康管理表作成・回収・チェックを行った。配膳時の身だしなみについて、チェックをし、衛生面の確認をした。 ・調理学習届項目内容の確認を行った。 ・研修会 給食時の注意事項や食物アレルギーのある生徒に対するの対応方法、エピペンの使用方法について、DVDを視聴し、共通理解を図った。 <p>◎摂食指導の研修を理学療法士高木 PT が職員対象に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の時、言語聴覚士に来ていただき摂食指導をしてもらった。

<p>〈保護者に向けて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試食会を実施した。 ・希望者に対し、体重管理に関する個別相談を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生かつ安全な給食提供をできるよう、随時必要と思われる情報をプリントや会議等を利用して共有した。 ・給食開始指導では、改めて手洗い、消毒、うがいの徹底ができるように会議等で共通理解を図った。
<p>2. 今年度の取り組みを受けた、次年度の課題（・箇条書き、◎重点課題）</p>	
<p>小学部</p>	
<p>児童対象</p>	<p>職員対象</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◎引き続き、痩せ・肥満児童への相談指導に力を入れていく。 ・全学年で調理学習の際には、感染症対策を講じて行う。 ・食品や食具の名前、食事のマナーについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎全職員で食物アレルギーの児童の把握と対応の仕方の周知の徹底を行い、食物アレルギーのマニュアルについて周知する。 ◎児童の実態に応じた食事の指導を行う。 ・衛生管理や使用器具など食の安全について周知する。
<p>中学部・高等部</p>	
<p>生徒対象</p>	<p>職員対象</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・調理や配膳時の衛生管理の充実。保健分掌とも協力し、手洗いや身支度の衛生面について改めて考える機会を更に増やしたい。調理学習や配膳の機会を利用する。 ・食育関係の授業をもっと充実したものできるように栄養士の出張授業などを中学部高等部ともに取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎全職員の食物アレルギーに対する意識の向上。 生徒の実態を正確に把握し、校内体制を強化する。 ◎衛生管理の徹底 衛生管理に対する意識を更に高められるように研修等を行う。 ◎年度末に食に関する引き継ぎを確実にを行い、個々に応じた適切な支援ができるようにする。 ◎食育関係の授業の授業を通して、食べ物の働きと体について栄養バランスの良い献立を考える時間を設け、食育の場を増やしていく。

分掌名	保健	担当者	◎佐川 柴田 割田 林 山崎 木村 重田 米井 ◎三ツ石 長谷川 土屋萌 小棚木 磯谷 柏 高橋広
-----	----	-----	--

1. 今年度の活動報告（・箇条書き、◎今年度新たに取り組んだこと、力をいれたこと）

小学部

児童対象	職員対象
<p><性に関する指導></p> <p>◎6年生の修学旅行の事前学習で、実際に船橋アリーナに行き、大浴場の使い方を指導した。</p> <p>・5年生の宿泊学習の事前学習で、お風呂の入り方や体の隠すところを学習した。</p> <p><歯磨き指導></p> <p>◎5年生を対象に市の歯科衛生士を講師に迎え、歯磨き指導を行った。染め出しを行い、どのくらい汚れが残っているのかを確認した。</p> <p>・各学年に応じた歯磨きの手順表を水場に貼っておき、歯を磨くことを意識できるようにした。</p> <p><手洗い指導></p> <p>・全学年で「あわあわ手あらいのうた」に合わせて手洗いに取り組んだ。</p> <p>・手洗い指導後の約一週間を手洗い週間とし、手洗いが上手な児童を「手洗いマイスター」として各学年1名を表彰した。（R3年度からの取り組み）</p> <p><肥満指導></p> <p>・毎朝、肥満傾向の児童の体重測定を実施し、体重の増減をグラフ化している。</p> <p>・長期休み前には「体重記録表」を全児童に配付し、継続して測定している。</p>	<p>・現時点で、児童の歯磨きスキルの程度を表にして把握できるようにした。（6月・11月）</p> <p>・支援案、資料等の保存共有化を図り、誰もが手洗い支援をできるようにした。</p> <p>・手洗いマイ児童自身が手洗いについて意識できるように、マイスターに一度選ばれた児童は殿堂入りとなり、より多くの児童が表彰できるように工夫している。</p> <p>◎毎月の測定結果から、肥満傾向のある児童の保護者へ学級担任・養護教諭から個別指導を行った。</p>

中学部・高等部

生徒対象	職員対象
<p><検診関係></p> <p>◎学校における定期検診をスムーズに受診できるように、事前に各学級で検診の受け方を確認した。</p> <p><保健学習></p> <p>（中学部 年4回）</p> <p>・熱中症の予防、人との関わり方など日常生活に生かせる内容に取り組んだ。</p> <p>・中学部1年生では、歯科衛生士による歯</p>	<p>◎養護教諭と連携して、事前指導を行った。（道具や視覚的に分かる資料等）</p> <p>（中学部、高等部共通）</p> <p>◎学習したことが日常生活に生かされるような内容や、実際に問題となっている事例をテーマにした。</p>

<p>磨き指導を行った。</p> <p>◎性教育では、昨年度の保健教育アンケートの意見をもとに、学年を越えた縦割りでグループ編成をして、生徒の実態に合わせた学習を行う。→1月</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健学習ファイルを作成し、ワークシートを綴じ込んでいくことで、学習内容を振り返れるようにした。 <p>(高等部 年7回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業を実施する時期を調整し、様々な学習ができるようにするとともに、使用教材が重ならないようにした。 感染症の予防、男女交際、薬物乱用など現代社会が抱える問題にも取り組んだ。 高等部1年生では、歯科衛生士による歯磨き指導を行った。 <p>◎保健の授業時間を、50分で行える時数を増やした。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健学習ファイルを作成し、ワークシートを綴じ込んでいくことで、学習内容を振り返れるようにした。 <p><保護者に向けて></p> <p>◎保健学習ファイルを家庭に持ち帰り、感想や意見をもらう機会を作った。</p> <p>◎保健教育アンケートの実施アンケートを紙媒体からフォームに変更して行う。→2月</p>	<p>◎学年や学級の様子に応じて、取り組む内容やグループ編成を工夫した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健教育コーナーを整理し、テーマごとに支援案や教材をファイリングした。 <p>◎学びの時間を十分に確保し、さらに実践演習に取り組むことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健学習ファイルを持ち帰るときには、保護者からの意見や感想を、今後の学習に生かせるようにした。 保護者が悩んでいることなどをもとに、より実生活に結びつく内容を取り入れられるようにした。 <p>◎保護者の意見を一覧にして、授業により生かしやすくする。</p>
--	---

2. 今年度の取り組みの課題と次年度に向けて (・箇条書き、◎重点課題)

小学部	
児童対象	職員対象
<p>◎性に関する指導として、高学年における宿泊時の指導を引き続き行う。他学年でも日常的に場面に応じて指導を行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 歯磨きスキルが上達するように、歯磨き指導の時間を設けたり、日常的に教師が支援をしたりする。 	<p>◎児童の発達段階に応じた「小学部保健教育年間計画」の内容を再確認し、学級活動の時間等に指導するよう、各学年に呼びかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材、データの共有保存場所を周知する。 保健学習のクラスルームに、いつでも担任がすぐに使用できる教材を作成する。
中学部・高等部	
生徒対象	職員対象
<ul style="list-style-type: none"> 定期検診をスムーズに受診できるように、養護教諭と連携して事前指導を含めた支 	<p>◎卒業後の生活を見据えて、健康に留意することができるように、継続した支援や</p>

<p>援を行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健学習や日常生活の指導、性教育などについて講師を招くなど、様々な方面からアプローチをし、一人一人の課題に継続的に取り組む。 ・検診前の学級での事前指導をより充実して分かりやすいものにするために、受け方の動画を確認する時間をつくる。 	<p>声かけを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎発達年齢に合わせて既習内容が深められるよう、学部での取組を担当間で共有し、内容の発展を図る。 ・生徒の実態や保護者の意見などを考えながら学習内容を考える。 ・保健学習ファイルや保健教育アンケートを通じて、家庭との連携を図り、意見を反映できるようにする。 ◎健康診断の事前指導の際に、検診の受け方を録画に残して、動画として学級での事前指導に生かせるように準備する。 ◎熱中症警戒アラートが出た際の保健体育の授業で、学級で活用できる保健学習の内容を準備する。
--	---

分掌名	体育	担当者	◎尾形 高下 前川 渡邊 中川 清治 ◎菊池 後藤充 小林英 高山 新井 大谷 唐橋
-----	----	-----	---

1. 今年度の活動報告（・箇条書き、◎今年度新たに取り組んだこと、力をいれたこと）	
小学部	
児童対象	職員対象
<p>◎熱中症対策を講じた水泳学習 冷房を効かせた体育館をプールに行くまでの通り道としたり、プールサイドに2梁テントを張ったりするなどして、熱中症対策を講じた。</p> <p>〈体育活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動(サーキット) ・器械器具を使つての運動(マット運動、跳び箱、鉄棒など) ・ボール運動(PK、的当て、キックベース、キャッチボールなど) ・水遊び、水泳学習 ・走・跳の運動(ハードル走、サーキット) ・マラソン月間(11月、12月で実施した。基本は10分間走) 	<p>◎グラウンド走路整備(芝の刈り取り、砂の補充)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生法講習会(今年度は船橋東消防署職員を招き、実技講習を行った。) ・各学年毎月の単元計画の作成 ・体育行事の提案、運営 ・体育施設の管理
中学部・高等部	
生徒対象	職員対象
<p><通年・共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の体力や健康状態に応じた授業を展開した。 <p>◎体づくり運動、陸上運動、武道、球技、ダンスなど様々な運動領域に取り組んだ。</p> <p><中学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育祭(5月) ・新体力テスト実施(6月) ・水泳学習(7月) ・スポーツ大会(9月) キックベースボール、PK合戦、Tスロー ・中学部葛南地区駅伝試走会・大会(11月) 2チームエントリー 日々の記録を掲示し、生徒の意欲につながった。 <p><高等部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等部スポーツ大会(9月) キックベースボール、Tボール ・高等部ポッチャ大会(9月) ・高等部葛南地区駅伝試走会・大会(11月) フルの部(20km) 3チームエントリー 	<p>◎雨天や熱中症警戒アラート発令時の室内体育の充実化。教室や体育館等で取り組める略案を作成し、学部内で共有することでどの学級でも取り組めるようにした。</p> <p>◎心肺蘇生法及び救急救命講習(5月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤十字心肺蘇生法講習会参加(5月) ・熱中症警戒アラート対策、WBGT設置 ・プール清掃(6月) ・プール水質検査(7月) ・除草作業(8月) ・体育館倉庫、外倉庫清掃(8月) ・事故発生時の対処とAEDの適切な管理について ・外倉庫、体育館倉庫清掃(12月) ・ワックスがけ(3月)

2. 今年度の取り組みの課題と次年度に向けて（・箇条書き、◎重点課題）

小学部

児童対象

職員対象

- ・今年度の活動記録を踏まえて、次年度の活動計画を行い、より楽しく安全な体育学習を目指す。
- ・使用用具の工夫をして、時間いっぱい活動できる運動量を確保する。

- ◎体育学習時に待ち時間が長くなってしまいうため、時間いっぱい活動ができるような学習計画の立案、実施していく。
- ◎熱中症警戒アラート発令時の活動内容について見直しする。

中学部・高等部

生徒対象

職員対象

- ◎生涯にわたって多様な運動やスポーツに親しめるようにする。
- ・引き続き武道やダンス、体づくり運動など様々な運動領域へ取り組む。
- ・グループによって取り組む運動領域に偏りがあった。全てのグループが3領域以上に取り組む。
- ・各グループの生徒数を見直し、一人ひとりに十分な支援、指導ができるようにする。

- ◎心肺蘇生法及び救急救命講習
 - ・今年度は高等部が陸上部、ダンス部の活動中の緊急時の対応を想定して行った。中学部の職員や体育の時間など様々な場面を想定して、全職員がシミュレーション形式で実践できるようにする。
- ◎安全な環境づくり。
 - ・年間を通して、定期的に清掃や除草作業を行い、安全で取り組みやすい環境を整える。
- ◎雨天時や熱中症警戒アラート発生時の室内での活動内容の見直し。反省をもとに略案を再度検討する。
 - ・各グループでの年間計画を作成し、共有する。
- ◎パラスポーツの競技や種目へ取り組む。
 - ・体育物品貸出表の作成をし、所在を明確にする。また、破損した場合には、掲示板等を用いて中高で連携を取るようにする。

分掌名	安全防災	担当者	◎山本 富樫 杉浦 長谷部 谷口 若林 ◎野田 佐野 小林彩 中山 石川 木下
-----	------	-----	--

1. 今年度の活動報告（・箇条書き、◎今年度新たに取り組んだこと、力をいれたこと）

小学部

児童対象	職員対象
<p><避難訓練></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年5回の避難訓練で児童に予告あり3回、予告なし2回の訓練を行った。 ◎シェイクアウト訓練 移動時間など児童の動きがバラバラのタイミングに実施。様々な場所での避難の仕方について共通理解をした。 <起震車・煙中体験> ・5、6年生を対象に、起震車体験と煙中体験を行った。児童に合わせた震度を設定し、地震の揺れを体験した。 <交通安全教室> ・5、6年生を対象に実施した。交通ルールを知ったり、正しい道路の歩き方を体験したりすることができた。 	<p><避難訓練></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに避難経路を確認する避難訓練を行った。 ◎消火栓や防災無線の使い方など、防災機器の扱いについて業者に依頼し、代表職員で実施予定。 <備蓄食料> ・備蓄食料の確認をし、各学級でコンテナに整理した。 ◎不審者対応訓練 警察官が不審者となり、訓練と講和、刺又使用の訓練を行った。 ・安全点検

中学部・高等部

生徒対象	職員対象
<ul style="list-style-type: none"> ◎“予告なし”や“地震速報使用”の避難訓練 多くの生徒が落ち着いて避難できたが、固まる生徒や、速報音が苦手な不安になる生徒もいた。また、避難経路に通行禁止エリアを設定することで、より臨機応変な対応を求められる訓練となった。 ◎交通安全運動期間に校内放送により交通安全マナーや、自転車の乗り方や歩行者としての留意点を校内放送により周知した。 ◎一次避難に重きを置いたシェイクアウト訓練を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎不審者・心停止時・てんかん発作時・行方不明生徒への対応についての講話、実践訓練を行った。 ◎救急搬送時における台本を作成し、各所に配置し、読み上げの練習を行った。 ・地震発生時の一次避難の仕方や避難経路について共通理解を図った。 ・毎月の校内安全点検 ・安全運転についての周知 ・『安全の手引き』の周知、共通理解

2. 今年度の取り組みの課題と次年度に向けて（・箇条書き、◎重点課題）

小学部

児童対象	職員対象
<ul style="list-style-type: none"> ◎児童に予告なしやいろいろな場面を想定して避難訓練を行う。 ・起震車・煙中体験 ・交通安全教室 ◎保護者への災害時引き渡し訓練を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ◎職員にも予告なし、いろいろな場面を想定した避難訓練を行い、実際の動きをより意識して行うことができるようにする。 ・不審者対応訓練 ・安全点検

中学部・高等部

生徒対象	職員対象
<p>◎予告なしでの避難訓練(様々な時間帯で)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不審者侵入時の避難訓練 <p>◎複数回シェイクアウト訓練を行う</p>	<p>◎不安傾向の強い生徒への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践を通じた災害や不審者侵入時等の対応や動きの共通理解(臨機応変な役割分担・判断の迅速化) ・行方不明生徒への対応と探索について ・部活動等、各活動中に想定される緊急時の対応

各種検診結果及び保健室利用状況について（資料）

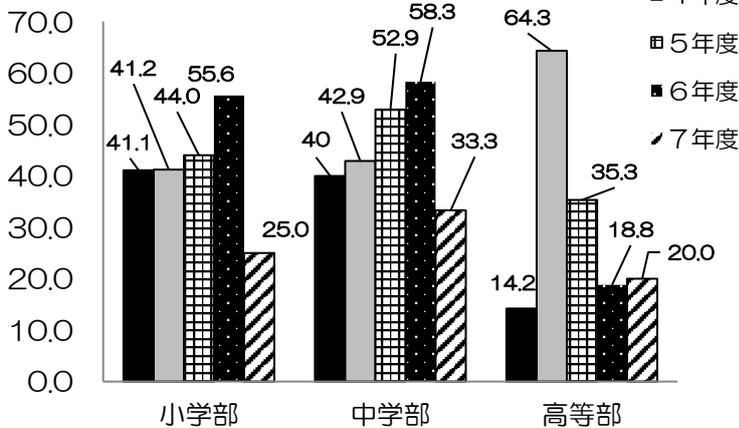
●歯科検診結果（％）

疾病異常	検診時期	小学部		中学部		高等部	
		人数	%	人数	%	人数	%
むし歯	5年度	11	6.2	8	7.8	10	8.2
	6年度	12	7.7	10	9.3	29	17.6
	7年度・春	12	6.9	8	6.7	22	13.2
CO	5年度	0	0	0	0.0	0	0.0
	6年度	0	0	0	0.0	0	0.0
	7年度・春	0	0	4	3.3	0	0.0
DMF指数	5年度	0.1		0.3			
	6年度	0.2		0.2			
	7年度・春	0.04		0.2			

D=むし歯の治療をしていない永久歯
M=むし歯で抜いてしまった永久歯
F=むし歯の治療済みの永久歯

- * CO：むし歯になりかけている、経過観察が必要な歯
- * DMF指数：永久歯の一人あたり平均DMF歯数（小学部6年生・中学部1年生のみカウント）

歯科受診勧告者の受診率（％）



小学部は、自宅近くの歯科医院への通院が困難な場合は、市内2か所にある特殊歯科診療所をお薦めしています。

年々、通院できる児童が増えており、口腔ケアが以前に比べてできてきています。給食後の歯磨き、担任による仕上げ磨きも定着しています。

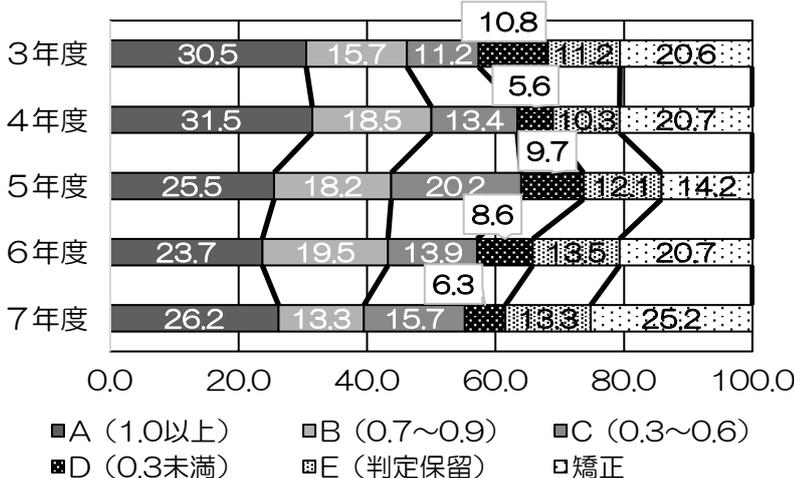
金堀校舎では今年度より、朝蔭綾子先生が新たに学校歯科医として着任され、中学部の歯科検診を担当していただいています。

中学部・高等部は、昨年度よりも歯科検診でむし歯があると診断された生徒の割合が低下しており、口腔衛生の良い生徒が増えています。一方で、歯科受診勧告者の受診率が低いため、受診勧告のお手紙や保健だよりに加えて、保護者面談などでの呼びかけも必要だと感じています。

中1高1の保健学習では、歯科衛生士による歯磨き指導を実施し、歯科衛生士に1人ずつ染め出しやブラッシング指導を行っていただきました。

●各疾病・異常の割合

中学部・高等部 視力検査結果の推移（％）



中学部・高等部の視力1.0未満の生徒は、過去5年間で3番目に多い結果となりました。また、視力矯正をしている生徒が増加しています。

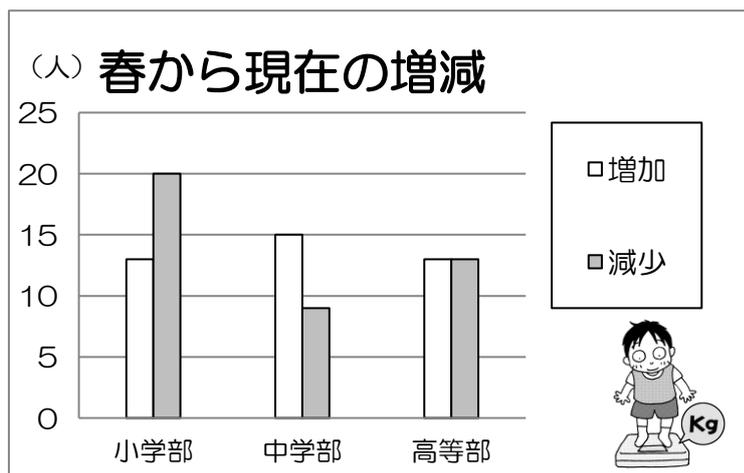
眼科では斜視の診断を受ける生徒もあり、スマートフォンやタブレット型端末の長時間使用や、使用時の姿勢について家庭と連携しながら支援していく必要があります。

学校の視力検査では、ランドルト環または絵カードによる検査を行っていますが、どちらの方法でも検査することが難しい場合は「判定保留」としています。判定保留となった生徒については正確な視力が分からないため、支障がないかどうか、日常生活の様子を注意して見ていく必要があります。

●肥満の状況（令和7年度・春）

学部	肥満度 学年	実施者数	軽度肥満		中等度肥満		高度肥満		合計	
			20%以上 ～ 30%未満		30%以上 ～ 50%未満		50%以上			
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
小学部	1年生	36	0	0.0	3	8.3	1	2.8	33	18.5
	2年生	28	3	10.7	3	10.7	0	0.0		
	3年生	32	0	0.0	5	15.6	1	3.1		
	4年生	29	0	0.0	2	6.9	0	0.0		
	5年生	26	3	11.5	3	11.5	1	3.8		
	6年生	27	3	11.1	4	14.8	1	3.7		
	計	178	9	5.1	20	11.2	4	2.2		
中学部	1年生	45	2	4.4	5	11.1	1	2.2	26	21.7
	2年生	34	4	11.8	2	5.9	2	5.9		
	3年生	41	4	9.8	5	12.2	1	2.4		
	計	120	10	8.3	12	10.0	4	3.3		
高等部	1年生	63	3	4.8	4	6.3	2	3.2	27	16.2
	2年生	59	4	6.8	3	5.1	2	3.4		
	3年生	45	4	8.9	4	8.9	1	2.2		
	計	167	11	6.6	11	6.6	5	3.0		
合計		465	30	6.5	43	9.2	13	2.8	86	18.5

●肥満度の推移（春に肥満だった人の追跡）



小学部は、減少した児童の割合が多かったです。体育のランニングの周数、おやつの摂り方や給食のお代わりの量など保護者や学級担任が毎日気を付けている成果だと感じました。

中学部では、肥満度が増加した生徒の方が多かったです。高等部では、増加した生徒と減少した生徒が同数でした。

保健室では、保護者と担任からの要望がある生徒を対象に毎朝体重測定を行っています。また、長期休業中は活動量が落ち、体重が増加しやすいため、夏休み前に「夏休み体重記録表」を配付し、長期休業中も任意で測定に取り組んでいただいています。

中等部では今年度、毎月の保健だよりで肥満対策について取り上げました。

今後も家庭や担任と連携しながら、肥満生徒の支援を続けたいと考えています。

*春に肥満度20%以上だった児童生徒について9月の肥満度を比較

